部局名	都市整備部	所属名	公園緑地課	所属長名	綱島 幹夫	電話	483-1151 内線3230
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3354	事務事業名称	公共用地取得事業特別会計繰出金				短縮コード	経常	3354	臨時		
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	04	都市計画費	目	07	緑化費
区分	☐ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☒ その他		根拠法令等	地方自治法216条								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
<p>・昭和40年代から首都近郊都市として急激な市街化により、市街化区域内に残る貴重な緑が失われてきた為、昭和50年に「八千代市ふるさとの緑を守る条例」を制定し、緑の保全に努めています。</p> <p>・平成元年及び平成3年に市街化区域内に残る貴重な緑を恒久的に保存するため、市民の森等として7箇所を都市計画決定しました。その後、地権者(所有者)からの買取り要望により公共用地取得事業特別会計にて、平成5年度から平成8年度に用地を取得しました。</p>												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱(章)	04	快適生活空間都市をめざして					
<p>・東葉高速鉄道の開通、バブル経済による大規模開発事業等により緑が失われたことに伴い、環境問題等、緑の保全に対する市民の声が多くなってきています。</p>					大項目(節)	03	公園・緑地					
					中項目	01	公園・緑地					
					小項目(施策)	01	都市公園の整備					
					細項目	04	都市緑地等の整備					
					実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無	☐		計画事業期間	平成6年4月 ~ 平成19年3月		計画事業費	千円					

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	・八千代台西市民の森 (平成5年度より平成8年度まで用地取得)	
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	<p>※平成18年度に実際に行ったこと: ・市債償還に伴う原資を一般会計より繰出しました。</p> <p>※平成19年度に計画していること: ・市債の償還が完了したことに伴い、平成18年度で事務事業終了。</p>	
意図 (何を狙っているのか)	・平成5年度より平成8年度までに発行した市債の原資となる。	
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	・都市緑地の整備を行うことにより、緑地の保全が図られ身近に安全で快適な公園を提供できる。	

区分	指標	内容	単位	17年度	18年度		19年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	用地取得総額	千円	2,012,700	2,012,700	2,012,700	0
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	一般会計からの繰出額(累計)	千円	1,968,469	2,012,700	2,012,700	0
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	用地取得費の返済割合	%	97.8	100	100	0
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1	市民一人当たりの都市公園面積	m ²			5.02	
	指標2	緑豊かなまちと感じている市民の割合	%			75.5	
	指標3	アダプト制度実施公園数	か所			50	

コード	3354	事務事業名称	公共用地取得事業特別会計繰出金			所属名	公園緑地課
	単位	17年度		18年度		19年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0
		県	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	110,337	44,231	44,231	44,231
		その他	千円	0	0	0	0
主な事業費の内訳			公共用地取得事業特別会計繰出金	公共用地取得事業特別会計繰出金	公共用地取得事業特別会計繰出金		
人件費 (B)		千円	96	95.8	87.1	0	0
トータルコスト (A)+(B)		千円	110,433	44,326.8	44,318.1	0	0

3. 事務事業の評価 (SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☐ 結び付いている	・過年度に実施した公共用地取得事業特別会計への、償還計画に合わせた一般会計からの繰出金であり、評価対象事項外。			
		☐ 結び付くが見直しの余地がある				
		☐ 結びつきが弱い・ない				
		☒ 評価対象外事項				
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している	・過年度に実施した公共用地取得事業特別会計への、償還計画に合わせた一般会計からの繰出金であり、用地取得は既に完了しており評価対象外事項。				
	☐ 達成していない					
	☒ 評価対象外事項					
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	☐ 可能性はある	・過年度に実施した公共用地取得事業特別会計への一般会計からの繰出金であり、事業の性格上民営化はなじまない。				
	☐ 可能性はない					
	☒ 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☐ 現状のままでよい	・過年度に実施した公共用地取得事業特別会計への、償還計画に合わせた一般会計からの繰出金であり、評価対象事項外。				
	☐ 見直す必要がある					
	☒ 評価対象外事項					
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性はある	・過年度に実施した公共用地取得事業特別会計への一般会計からの繰出金であり、事業の性格上評価はなじまない。			
		☐ 効率性向上の可能性はある				
		☐ 両方可能性はある				
		☒ 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等	類似事務事業名称	1		実施主体 (所管部署)
		☐ 臨時的任用職員等の活用				
		☐ IT化等業務プロセスの見直し				
☐ 受益者負担の見直し	2			実施主体 (所管部署)		
☐ 類似事業との統合・役割見直し						
☐ 上記以外の方法						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	☐ ある					
	☐ ない					

コード	3354	事務事業名称	公共用地取得事業特別会計繰出金			所属名	公園緑地課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		☐ 改革・改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他		・平成18年度で事務事業完了。		
			☒ 廃止 ☐ 休止 ☐ 現状のまま継続				
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。				経費			
				削減	不変	増加	
成果		向上	☐	☐	☐		
		不変	☐	☐	☐		
		低下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
・議会 平成 元年度 緑の保全と散策道について 平成 3年度 緑化政策、環境保全林、樹林地の保存について 平成 4年度 緑化の推進、緑地の保全について 平成13年度 斜面緑地の保存について	

所属長コメント	市街地に公共緑地として残すための有効な事業ですが、莫大な費用がかかる為、資金調達の手法も検討する必要があります。	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他	
	☐ 廃止	
	☐ 休止	
	☐ 現状のまま継続	
事業区分「その他」のため評価対象外		